

暮らしを楽しく快適にするリフォームマガジン

DAIKEN
REFORM
MAGAZINE

ダイケンリフォームマガジン



飾り棚や壁に写真を飾って思い出を共有 松尾芭蕉 ゆかりの「旅の日」を楽しもう！

家から外出できない時に旅を楽しむ方法のご提案です。

みなさんご存知の松尾芭蕉は、旅行記「奥の細道」で知られる江戸時代の俳人です。総距離約 2400km にも及ぶ旅の道中で、芭蕉は数々の俳句を詠みました。中でも「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」「夏草や 兵どもが 夢のあと」などの句が有名ですよね。

その松尾芭蕉が奥の細道へと旅立ったのは元禄 2 年（1689 年）年 3 月 27 日で、新暦では 5 月 16 日となります。現在この 5 月 16 日が“旅の日”とされているのをご存知でしょうか。

“旅の日”は、1988 年に旅文化の向上を目指してさまざまな活動を行っている「日本旅のペンクラブ」の提唱によって誕生した記念日です。

5 月は気候的にも過ごしやすい、長期休暇となるゴールデンウィークがあるため旅にぴったりの季節です。

松尾芭蕉ゆかりの場所には、日本三景のひとつである宮城県・松島、世界遺産の岩手県・平泉に山形県・山寺など、見どころ満載のスポットが多いので、奥の細道をたどる旅行などを計画するのも楽しいと思います。

そんな旅の計画を立てるのは、在宅での楽しみのひとつとなるでしょう。また以前に行った旅の思い出を整理してみるのも楽しい発見があるのではないのでしょうか。

旅行中に撮影した写真はプリントして家族と共有しよう



旅行の思い出を残したいときに便利なのが写真です。

ただ、旅行中は楽しく撮影をしても、帰宅後はスマートフォンやデジタルカメラに保存したまま放置しがちという方は意外と多いのではないのでしょうか。せっかく撮影した写真を埋もれたままにしておくのは非常にもったいないことです。

そこで、家族や大切な人との思い出を共有するために、旅で撮影した画像をプリントアウトしてみてもいかがでしょうか。

紙に印刷した写真はモニターで見る画像とは一味違う特別感を味わえますので、普段はSNSやネット上の共有サービスなどで写真を活用されている方も一度お試しください。

写真は自宅にカラープリンターがあればそれを使ってプリントしても良いですが、現在はコンビニや写真用品店、家電量販店などでも手軽にきれいなプリントをすることが可能です。

全国津々浦々にあるコンビニのマルチコピー機なら、旅行中でも写真をプリントアウトできるので便利です。

また、旅の思い出を切り取った写真がたまったときは、ネットで注文してフォトブックにするといった楽しみ方もあります。

フォトブックならプリント写真をおしゃれな本の形でひとまとめにできるため、気軽に画像を共有できるアイテムとしておすすめです。

思い出の写真や品をおしゃれに飾ろう



プリントアウトした写真はリビングなどに飾っておくと、家族や大切な人と旅行の思い出を共有しやすくなります。

みんなが一緒に見られる場所に写真があることで、日々の生活の中で写真をきっかけとしたコミュニケーションが増えることは間違いありません。

そこで、プリントアウトした写真をおしゃれに飾るためのインテリアについて紹介します。



大胆なスタイルとして、リビングの壁一面をディスプレイスペースにしてしまうのはいかがでしょうか。

DAIKEN のカウンタートップ『集成材カウンター（ゴム材）』はカスタマイズ性が高く、自分好みの飾り棚を設置できます。

旅の写真だけでなく、思い出の品や家族の趣味のアイテムなどを一緒に飾ることで、その家庭独自のカラーを演出することができます。



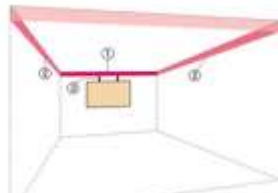
ほかにも DAIKEN では『ガラスカウンター』という飾り棚を用意しています。強化ガラスを使用しており、長さ 605mm なら 5kg、1060mm なら 10kg と、旅の写真や思い出の品を飾るには、十分な耐荷重があります（※）。透明なので部屋に圧迫感を与えず、スタイリッシュなテイストをプラスできる、使い勝手の良い飾り棚です。

（※）耐荷重以下のものであっても薄型テレビ、鉄アレイなどの 1 点に集中して荷重がかかるものは乗せないでください。



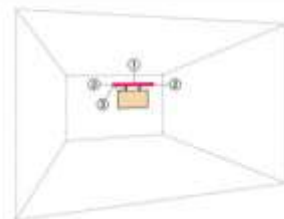
2つの演出をお選びいただけます。

壁面を大胆に飾る、大きなアートギャラリーを演出。



使用部材
 ①ピクチャーレール(フック4個同梱)
 ②ピクチャーレール用回り縁
 ③ピクチャーレール用ワイヤー

壁面にワンポイントの
アートアクセントを演出。



使用部材
 ①ピクチャーレール(フック4個同梱)
 ②ピクチャーレールエンドキャップ
 (左右各1個入り)
 ③ピクチャーレール用ワイヤー

大きなサイズで画像をプリントして額縁に飾るのもおしゃれです。その際にあると便利なのが、DAIKENの『ピクチャーレール』です。

部屋の壁面に『ピクチャーレール』を設置することで、ワイヤーやフックを使って額縁を吊り下げて飾ることができるため、アートギャラリーのような空間を演出することが可能です。一度レールを取り付ければ、額縁の取り外しや飾る位置の調整を行えるので、自由度の高い飾り方を楽しみたい人向けのおしゃれなインテリアアイテムです。

写真以外にも旅の思い出の品やインテリアをたくさん飾りたい人には、扉の無い収納棚・オープンシェルフもおすすめです。

中でも DAIKEN のシステム収納『フィットシェルフ』は、性能・デザイン性・カスタマイズ性に優れています。



「ブックシェルフプラン Plan05」は“旅を飾る”をコンセプトにした『フィットシェルフ』の一例です。

写真はもちろん、旅行中に入手した大きさの異なる思い出の品々を自在にディスプレイできます。規則性にとらわれない、個性的で魅力的な飾り棚をつくりたいという方におすす

めです。

ほかにもさまざまなプランを取り揃えていますので、興味のある方はWEBカタログをご確認ください。

そして、旅に出かけた後、思い出として撮影した写真をプリントし、今回ご紹介したインテリアアイテムなどを使っておしゃれに飾ってみてください。

写真を見るたびに楽しかった旅が脳裏に蘇り、思い出話に花が咲きますよ。

【DAIKEN リフォームマガジン 2020年5月号掲載】